

当院で「卵黄消化管アレルギー」と診断された患者様へ

2026年8月28日

小児科

小児科では、卵黄による食物蛋白誘発胃腸炎に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2023年4月～2026年5月までに先行研究「アレルギー疾患患者における革新的な抗原特異的細胞の同定方法開発の研究（HK202305-03）」に同意された当時3歳未満の方および代諾者の方

1. 研究課題名

「シングルセル解析を用いた卵黄食物蛋白誘発胃腸炎における末梢血卵黄抗原特異的リンパ球の同定と免疫学的特徴の解明」

2. 研究期間

2026年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院の生命倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

卵黄による消化管アレルギーの発症メカニズムの解明のために以下のことを行います。

先行研究で保管している血液の一部をかずさ DNA 研究所に送付し、1つ1つの細胞を詳しく調べる方法で、卵黄に反応する特別なリンパ球を見つけ出し、それらがどのような性質を持っているのかを明らかにします。

本研究においては、氏名等の個人を識別でき情報を削除し、研究 ID に置き換えた試料・情報が提供され、解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：既に採取され、本院で保管されている血液

情報：年齢、性別、処方薬、家族歴、鶏卵の摂取歴、鶏卵摂取時の誘発症状、合併するアレルギー疾患、血液検査値、食物経口負荷試験での誘発症状など

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学大学院医学研究院 研究責任者：小児病態学 助教 山本健

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院小児科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。（※研究成果の発表後以外に参加拒否の申し出に対応できないケースがあれば、その旨も記載してください）試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問やご相談は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

千葉大学大学院医学研究院 小児病態学 山本健

043（222）7171 内線